

行動する東京都教育委員会

東京都民の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

東京都教育委員会は、年一度、地方行政の組織及び運営に関する法律に基づき、知事との懇談を行っています。委員会では一年間様々な議論を行いますが、その結果、特に重要と判断した事項については、この機会を利用して知事にお話することにしております。平成21年度は、全国的にも大きな問題となっている、いわゆる小1問題・中1ギャップに対応すべく、大規模な都独自の対応策についてお話ししました。

小1問題・中1ギャップは、児童・生徒の学力向上を図る上でも緊急な対応が求められる課題です。前者は、小学校に入学後に、学級という集団生活になじめなかったり、学校生活のルールが理解できなかったりすることなどから、児童が授業中に席を立て歩き回ったり、騒いだりし、授業規律が成立しない現象です。その原因として、児童に耐性や基本的な生活習慣が身につけていないことなどが言われています。一方、後者は、小学生から中学生になった途端に、学習量の急激な増加などの環境の変化についていけない現象で、そのような生徒が不登校になったり暴力行為に走りたりするなど、状況が深刻化することが懸念されます。

東京都教育委員会委員長 木村 孟



このような問題を未然に防ぐ一つの有効な手立てとして考えられているのが、学級規模を縮小することや、一クラスを複数の先生方で見ていただくことです。東京都教育委員会はこの方法等を実施すべく、都議会各会派等の様々な方からの提案を検討し、教員の加配を計画いたしました。石原知事からも早急に改善を進めるようお話をいただき、平成22年度は100名を超える教員増が実現いたしました。事務局において、極めて綿密な調査を行い、精緻なデータを出していただいたことも、大いに効果があったと思います。文部科学省の新たな教員増計画に先んじて東京都が大規模な教員増を実現したことは、大いに意義のあることであると幸いです。

東京都教育委員会は、今後とも、事務局と一体となって様々な取組を実施していきたいと考えておりますし、また十分できると確信しております。今後とも、都民の皆様の特段の御支援と御理解を賜りますようお願い申し上げます。

教育委員会の動き ～平成22年7月から11月までの活動について～

① 教育委員会の開催状況

平成22年7月から11月までに、9回の定例会と1回の臨時会を開催し、68件の議案と23件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものを紹介します。

<議案>

- 東京都立学校設置条例の一部を改正する条例の立案依頼外1件について
- 平成23年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針について
- 平成22年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成21年度分）について
- 東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画について

<報告>

- 進学指導重点校の選定基準及び目標について
- 「総合的な子供の基礎体力向上方策（第1次推進計画）」について
- 平成23年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目について
- 平成22年度「東京都教育の日」事業について
- 「平成22年度全国学力・学習状況調査」の結果について
- 小学校教員養成課程のカリキュラムについて
- アスリートによる「一日校長先生」及び「部活動指導」事業の実施について

② その他の活動

- 10月1日に開催した東京都教育実践発表会を視察しました。（高坂委員）
- 民間人校長・若手教員との意見交換を行いました。
- 「東京都教育の日」推進事業の視察を行いました。
 - 都立立川国際中等教育学校（竹花委員）
 - 板橋区立板橋第八小学校（高坂委員・瀬古委員）
- 学校訪問を行いました。
 - 都立立川国際中等教育学校（高坂委員）
 - 都立大森高等学校・都立雪谷高等学校（高坂委員・竹花委員）
 - 世田谷区立尾山台小学校・都立矢口特別支援学校（木村委員長・内館委員・高坂委員・瀬古委員）
 - 都立穂ヶ丘高等学校（高坂委員）
 - 都立桜修館中等教育学校・都立両国高等学校附属中学校（木村委員長・高坂委員・竹花委員・瀬古委員）
- 第58回東京都高等学校定通生徒生活体験発表会に出席しました。（高坂委員）

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。



11月18日 都立立川国際中等教育学校

話してみよう あなたの心配

～東京都教育相談センターのご案内～

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など
電話 | 03(5800)8008
メール | <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
※ホームページからご利用ください。

平日：午前9時から午後9時まで
土日祝日：午前9時から午後5時まで
その他の時間は、留守番電話で対応します。

高校進級・進路・入学相談
電話(専用ダイヤル) | 03(5800)4175
平日：午前9時から午後9時まで
土日祝日：午前9時から午後5時まで
その他の時間は、留守番電話で対応します。

いじめ相談ホットライン
電話 | 03(5800)8288
〈24時間受付〉

東京都教育相談センター
〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号
東京都教職員研修センター内

とうきょうの教育 第93号
平成23年1月1日発行

編集・発行
東京都教育庁総務部教育情報課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 | 03(5320)6733
ファクシミリ | 03(5388)1726

デザイン・印刷
株式会社ドゥ・アーバン

こたエールって、なに？
「東京子どもネット・ケータイヘルプデスク」の愛称です。

ネット・ケータイのトラブル相談！
こたエール
東京子どもネット・ケータイヘルプデスク

青少年がインターネットや携帯電話のトラブル（ネットいじめ、架空請求、迷惑メール、ネット上のコミュニケーションのトラブル、個人情報の流出など）で困った時の相談窓口です。小中学生はもちろん、保護者や学校関係者などが無料で相談できます。ちょっとした不安や悩みでも気軽に相談してください。

電話相談
電話番号 03-3500-5181
月～金 午前9時から午後6時まで
土 午前9時から午後5時まで
直接相談員に相談できます。

パソコン・ケータイ インターネット相談
ホームページ www.tokyohelpdesk.jp
こたエール 検索
24時間受け付けます。

子供たちがインターネット・携帯電話のトラブルに巻き込まれています。

こたエールに寄せられた相談事例

だれかが自分になりすまして嫌がらせメールを友達に送っています。友達に怒ってしまい、「自分じゃない。」と説明しても信じてくれません。今では、クラス中から無視されて困っています。 (中1 男子)	息子がネットゲームに夢中になり、ほとんど寝ないでゲームをしています。注意しても、全く言うことを聞きません。自分はインターネットに詳しくなく、どうしたらいいか分かりません。 (中3男子の保護者)	プロフで知り合った人に個人情報を教えてしまいました。会おうといわれ、断ったら、「会わないなら名前と写真をネットで公開するぞ。」と脅かされています。とても不安で怖いです。 (中3 女子)
娘に内緒で携帯電話をチェックしたら、コミュニティサイトで知り合った男性と会う約束をしていることが分かりました。会うのをやめさせたいが、どのように伝えたらいいか分かりません。 (中2女子の保護者)	携帯の古いサイトを見ていたら、知らない間に勝手に登録されてしまいました。退会手続きのメールを送ったら、35,000円払えと言われました。メアドから住所や個人情報が知られてしまうのでしょうか？心配です。 (小6 女子)	パソコンでアダルトサイトを見ていたら、いつの間にか、ポップアップの広告が表示されて消えなくなっていました。親には絶対に知られたくないので、相談できません。どうしたら消せますか？ (高1 男子)

とうきょうの教育

第93号
中学校版
平成23年1月

東京都教育委員会 ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>
東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみなさまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

東京の子供たち、文章を書く問題が少し苦手です。

平成22年4月20日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果から、東京の子供たちの学力に関する課題が明らかになりました。

「平成22年度全国学力・学習状況調査」(平成22年4月20日実施)
国語日(活用)問題

Q 線の部分は、人間が何をどうすることを表したのですか。10字以内で書きなさい。

〈略〉猫のように一年じゅう同じ物を着通せというのは、不完全に生まれついた彼らにとって、ちと無理かもしれんが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてものことだ。羊の御厄介になったり、蚕のお世話になったり、綿畑のお情けさえ受けるに至ってはぜいたくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。
(明治時代の小説 夏目漱石「吾輩は猫である」による。)

人間が衣服を着ること このような正しい解答ができた中学3年生は、全体の 37.8% でした。	ぜいたくは無能の結果 このように本文の一部を引用しただけの解答をした中学3年生が、 44.0% いました。
--	---

「平成22年度全国学力・学習状況調査報告書」(東京都教育委員会作成)から

本文中の比喩(例え)を用いて表現された内容について、その意味をとらえて簡潔に書く問題です。この問題は、東京の中学校3年生の生徒の、およそ3人に2人の生徒が正しく解答できず、本文の一部を引用しただけの解答が多くなりました。

「文を作り出すことに慣れていない」「比喩(例え)という技法を理解していない」「読解するための知識が不足している」といったことが原因と考えられます。

東京の子供たちの学力向上のために、東京都教育委員会では、子供たちの**読み解く力**を伸ばす授業を行っています。

- 文章や図表、グラフ等を手がかりに、問題を解くのに必要な情報を正確に取り出す力を伸ばします。
- 取り出したいいくつかの情報を比べたり、関連付けたりして、問題の内容を読み取る力を伸ばします。
- 読み取った内容と、自分の知識や経験とを照らし合わせて、意図や背景、理由を考えて解決する力を伸ばします。

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。

このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。

子供たちの「読み解く力」、東京都教育委員会ではこのような授業で伸ばしていきます。

— 線の部分は、人間が何をどうすることを表したのですか。10字以内で書きなさい。

〈略〉猫のように一年じゅう同じ物を着通せというのは、不完全に生まれついた彼らにとって、ちと無理かもしれんが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてもいいことだ。羊の御厄介になったり、蚕のお世話になったり、綿畑のお情けさえ受けるに至ってはぜいたくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。
(明治時代の小説 夏目漱石「吾輩は猫である」による。)



この問題に解答するときの条件を、先生はこのように整理してみました。どのように解答したらよいか、これからみんなで考えていきましょう。

- ① 「何を」が示しているものを考えよう。
- ② 「どうする」は何をすることだろう？
- ③ 10字以内で解答をまとめよう。



「羊の御厄介になる」とか「蚕のお世話になる」ってあるけど、羊も蚕も人間が世話をするものなので、変な感じがします。

下線部が何を指しているのか、イメージができてきましたね。整理した「何を」「どうする」こと、に当てはめてみましょう。

そうですね。だから、これは書いてある意味そのままだと考えると、不自然ですね。そのままではないとすると、どうでしょうか？

「洋服を」「着る」こと！

何か他のことを、この「羊の御厄介」という言い方で何かを例えているってことはありますか。ぜいたくをすることかな？

そうですね。「洋服を着ること」で7文字なので解答するときの条件と合っています。ただ、この小説が書かれたのは明治時代ですので、着物も日常的でした。したがって、「衣服を着ること」とすると、もっとよいでしょう。

いいところに気がきましたね。こういう表現を「比喩」といいます。この「羊」「蚕」「綿畑」から何か思いつきますか？文章の他のところにも、ヒントがあるのでよく読んでください。

「読み解く力」は、単なる「読解力」とは異なります！

- 文章や図表、グラフ等から、解決に必要な情報を正確に取り出す力
 - 取り出した複数の情報を比較・関連付けて読み取る力
 - 読み取った内容と、自分の持っている知識・経験を照らし合わせて推論し、根拠を明確にして解決する力
- 学力の基礎となるこれらの能力を、「読み解く力」としています。



文章内に「着通す」とか「皮膚の上へ載せて暮らす」とあるから、これって着るもの…服のことを指しているのかな？

羊と蚕からできるものだから、ウールとシルクのこと？綿畑っていうのも綿のことでよさそうだね。どれも洋服の材料だ！

「読み解く力」はどうして大切なのですか？
また、子供の「読み解く力」を伸ばすために、日ごろから家庭でもできることはありますか？

文章や図表、グラフ等から必要な情報を見付けたり、いろいろな条件が示されている中から、必要な情報を選んで活用したりする能力は、国語科の学習だけでなく、どのような教科でも、またこれから様々な情報にふれていく中でも必要となる、大切な基礎です。
学校の授業だけではなく、家庭での毎日の学習習慣を大切にすることで、「読み解く力」を伸ばしていくことができます。分からないことを家族と一緒に調べたり、新聞やテレビのニュースで気になったことを話し合ったり、自然に伸ばしていきましょう。

4月からは高校生！基本的な学習習慣を身に付けよう！

東京の子供たちの生活習慣や学習環境等の調査により、子供たちの基本的な学習習慣の確立と学力の向上との間には、密接な関係があることが分かっています。毎日の生活の中で、基本的な学習習慣を身に付けましょう。

必要な情報を手に入れよう！
必要な情報を得るために本や新聞を読み、学習したことを活用しようとしている中学生の方が、活用しようとしていない中学生よりも正答率が高いということが分かっています。
東京都では、新聞やテレビのニュースに関心を持っている中学生の割合は、全国平均よりも高い67.4%となっています。いろいろなことに関心をもち、様々な方法で情報にふれる習慣を作りましょう。

分からないことは調べよう！
疑問に思ったことを自分で調べようとしていたり、調べるに当たって調べ方やまとめ方などの計画を立てている中学生の方が、これらを行わない中学生よりも正答率が高いということが分かっています。
また、読書習慣がある中学生や、自分を根気強いほうだと思っている中学生は、そうでないと思っている中学生よりも高い正答率となっています。
分からないことをそのままにしないで、自分なりに考えたり調べたりすることを心がけましょう。

●情報収集のために本や新聞を読むことと平均正答率の関係

	国語 平均正答率	数学 平均正答率
している	76.4%	67.2%
していないことが多い	70.8%	62.1%

●疑問点を自分で解決しようとする意識と平均正答率の関係

	国語 平均正答率	数学 平均正答率
している	77.2%	69.5%
していないことが多い	69.8%	59.7%

「平成21年度児童・生徒の学力向上を図るための調査報告書」(東京都教育委員会作成)から

東京都特別支援教育推進計画 第三次実施計画を策定しました



東京都教育委員会は、平成16年11月に「東京都特別支援教育推進計画」を策定し、障害のある児童・生徒等一人一人の教育ニーズに応じた適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進に取り組んでいます。この計画では、全体を3期に分けて実施することとしています。これまで第一次・第二次実施計画に基づいて、都における特別支援教育の充実を図ってきました。平成22年11月に、新たに第三次実施計画を策定しましたので、計画の概要をご紹介します。

「特別支援教育」とはどのようなものですか？

「特別支援教育」とは、障害のある子供たちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという観点から、子供たち一人一人の教育的ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

今まではどんなことをしてきたのですか？

第一次実施計画(平成16年度～19年度)・第二次実施計画(平成20年度～22年度)により、障害のある子供一人一人の可能性を最大限に伸ばす、より専門性の高い教育の実施と、将来の自立と社会参加を目指した支援の充実を図ってきました。

第三次実施計画では、特別支援教育を取り巻く環境の変化に対応するため、計画期間を平成25年度までの3年間から、平成28年度までの6年間に延長します。

第三次実施計画の基本的な考え方

すべての学校で実施する特別支援教育の推進

小・中・高等学校、特別支援学校など、すべての学校において、子供たちがその障害の種類や程度に応じて、専門的な教育を受けられる環境を整備・充実します。

つながりを大切にした特別支援教育の推進

子供一人一人が、必要に応じて適切な指導と支援を受けられるよう、子供たちにかかわる人々・学校・関係機関のつながりをいっそう強化していきます。

障害や病気の有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現を目指します。

自立と社会参加をめざす特別支援教育の推進

職業教育や進路指導・就労支援の充実に向けた教育環境を整備し、将来の自立と社会参加を目指した取組を進めていきます。

Pick up! 都立高等学校における特別支援教育の充実

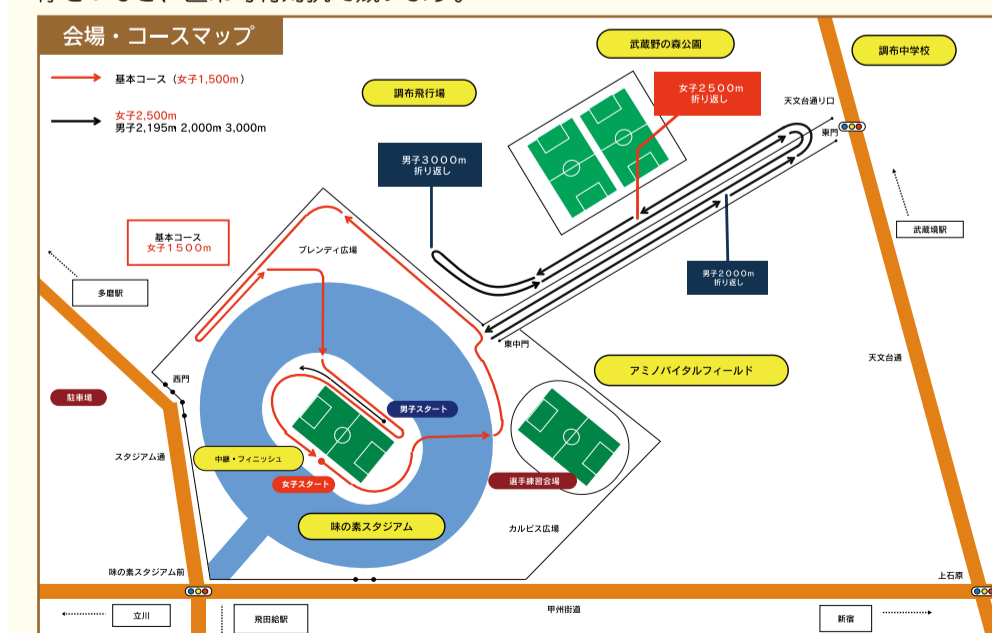
- 中学校から都立高校への適切な進学を推進し、都立高校に在籍する特別支援教育を必要とする生徒への指導・支援の体制づくりを進めます。
- 適切な進路を実現する指導体制の充実
- 特別支援教育コーディネーターの機能強化
- 心理等の専門家による支援の拡充



子供の体力向上東京大作戦

3月21日、第2回中学生「東京駅伝」大会開催！ ～今年も区市町村代表の中学2年生が襷をつなぎます～

東京都教育委員会は、平成23年3月21日に、都内の中学2年生がリレー形式で走る、第2回中学生「東京駅伝」大会を開催します。この大会は、都内中学生の健康増進や体力向上、競技力の向上を目的として、平成22年3月に実施した第1回大会に引き続き開催するものです。
第2回大会は、味の素スタジアム及び都立武蔵野の森公園特設周回コースが舞台です。男子の部はフルマラソンと同じ42.195kmを17人で、女子の部は30kmを16人で襷をつなぎ、区市町村対抗で競います。



平成22年3月21日 第1回大会レポート

早朝まで天候が荒れ、1時間遅れの開始となりましたが、スタートのときには青空となりました。



女子は午前11時に一斉スタート！最初のランナーが晴天の晴海会場を走りだしました。



チームの仲間たちの思いがこめられた襷を、次の走者へ託します。「あとは任せ！頑張れ！」



会場では、各地域から駆けつけた大勢の応援団が、力走する選手たちに大きな声援を送りました。

選手・役員・観客あわせて約15,000人が集まり、第1回大会は成功に終わりました！

第1回大会結果

	男女総合	男子の部(42.195km)	女子の部(30km)
優勝	町田市	町田市	町田市
準優勝	足立区	足立区	足立区
第3位	八王子市	八王子市	八王子市

表内の数字は「時間：分：秒」を示す。

第1回大会は、町田市選抜チームが総合優勝し、総合優勝旗を手に入れました。

女子の部は午前10時にスタート、男子の部は午後1時にスタートし、チーム全員でゴールを目指します。大会当日はぜひ会場に足を運んで、みなさんのまちの代表選手を応援してください！